

1 パブリックコメントの実施状況と結果について

(1) 公表した案

「立川市第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画素案」

(2) 案の公表場所

市ホームページ、立川市役所3階市政情報コーナー、女性総合センター、窓口サービスセンター、子ども未来センター、連絡所、図書館、学習館、障害福祉課、総合福祉センター

(3) 意見提出期間

令和2年12月15日～令和3年1月12日

(4) 結果

ア 提出者数 2名

ゆうそう 郵送	ファックス	Eメール	HPフォーム	らいしょ 来所
0名	0名	0名	2名	0名

イ 意見の件数 4件

<small>ぜんたい かか</small> 全体に関わる こと	<small>だい しょう</small> 第1章 <small>けいかく がいよう</small> 計画の概要	<small>だい しょう</small> 第2章 <small>けいかく と ま</small> 計画を取り巻 <small>じょうきよう</small> く状況	<small>だい しょう</small> 第3章 <small>しょうがいしゃしきく</small> 障害者施策 <small>ほうしんおよ</small> の方針及び <small>とりくみ</small> 取組	<small>だい しょう</small> 第4章 <small>せいかもくひよう</small> 成果目標	<small>だい しょう</small> 第5章 <small>しょうがいふくし</small> 障害福祉サービ <small>とう みこみりよう</small> ス等の見込量	<small>だい しょう</small> 第6章 <small>しょうがいじつうしよしえん</small> 障害児通所支援 <small>とう みこみりよう</small> 等の見込量	<small>だい しょう</small> 第7章 <small>けいかく しんちよく</small> 計画の進捗 <small>かんり</small> 管理	<small>しりょうへん</small> 資料編・ <small>た</small> その他
<small>けん</small> 0件	<small>けん</small> 0件	<small>けん</small> 0件	<small>けん</small> 0件	<small>けん</small> 2件	<small>けん</small> 1件	<small>けん</small> 1件	<small>けん</small> 0件	<small>けん</small> 0件

ウ 市の回答結果

<small>いけん はんえい</small> 意見を反映するもの	<small>し かんが かた せつめい</small> 市の考え方を説明するもの	<small>た</small> その他
<small>けん</small> 1件	<small>けん</small> 3件	<small>けん</small> 0件

※1名の方から複数の意見が提出されている場合は、それぞれの内容ごとに件数をカウントしています。

2 意見の要旨と市の考え方について

※1名の方から複数の意見が提出されている場合は、それぞれの内容ごとに要旨を整理しています。

※類似の意見については、内容を集約して整理しています。

(1) 意見を反映するもの (1件)

整理番号	該当箇所	意見要旨	件数	市の考え方
1	第6章	放課後等デイサービス実績量・見込み量について、施設等の区分(障害児、重症心身障害児)に分けて集計してください。	1件	重症心身障害児を支援する放課後等デイサービスの利用者は、令和2年3月実績で7人おり、隣接市にある4事業所が利用されています。この実績については、児童発達支援も併せて、成果目標5「障害児支援の提供体制の整備等(P.25)」に追加記載します。

(2) 市の考え方を説明するもの (3件)

整理番号	該当箇所	意見要旨	件数	市の考え方
2	第4章 第6章	重症心身障害児(医ケア児)の通える放課後等デイサービスの事業所設置にむけて、「地域のニーズについて開設希望事業者へ働きかけ」だけでは不十分です。国の補助事業(医療的ケア児等総合支援事業)も踏まえ、具体的な目標(設置時期、事業所数)を計画に位置付けてください。	1件	市内での事業所の確保については、公設ではなく民間の事業者による確保を予定しているため設置時期は記載できませんが、個別具体的な調整は進めています。目標とする事業所数は1か所で、成果目標5「障害児支援の提供体制の整備等(P.25・26)」に記載してあります。

		<p>利用ニーズとのマッチング数について、未就学児及び就学児（6～18歳）の具体的な人数を書いて下さい。</p>	<p>なお、アンケートにおける放課後等デイサービスに関する未就学児の状況は、回答者数52人に対し34人（65.4%）が今後の利用を希望する回答でした。また、学齢区分とのクロス集計は上記も含め「第2期障害児福祉計画策定のためのアンケート調査結果報告書」をホームページにて公開していますのでご確認ください。</p>
--	--	--	---

整理番号	該当箇所	意見要旨	件数	市の考え方
3	第4章	<p>自治体所属による医療的ケア児コーディネーターの配置をお願いします。妊娠・出産など地域生活を始める前から積極的に関わることで、家族との関係作りや家族ニーズへのアセスメントが可能であり、障害福祉サービスや障害児通所サービスの導入前から地域医療との連携もつくることができます。</p> <p>医療的ケア児が地域の中で生活している中で、子育ての中心のお母様が生活全体をコーディネートしている現状ですが、医療・福祉・市役所などの多くの関係機関をコーディネートするのは大変なことで、各家庭の力量が問われてしまいます。トータル的なコーディネートや相談を行うには、相談支援専門員のコーディネーターでは限界があります。</p>	1件	<p>現在市内には「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」受講済の相談支援専門員が4名おりますが、全て相談支援事業所に所属しています。自治体への配置も含め、医療的ケア児へ適切な支援を実施するためのコーディネーターの役割やあり方を検討し、配置についての協議を進めていきます。</p>

4	<p>だい しょう 第5章</p>	<p>いどうしえん じっせきりょう りようはんい おも 移動支援のサービス実績量について「利用範囲（主な がいしゅつさき しゅうけい おこな りようはんい 外出先）」ごとに集計を行ってください。また、利用範囲 かくだい けんとう の拡大について検討してください。</p> <p>ようせい じんざいかくほ げんかい た ヘルパーの養成での人材確保では限界があるため、他 ちいき ほうしゅうとう さんこう しんたい くぶんそうりつ 地域のサービス報酬等を参考に、「身体あり」の区分創立 ほうしゅう かいいてい や報酬の改定をしてください。</p>	<p>いどうしえん ひつようふかけつ しゃかいさんか よ かしえん うなが 移動支援は「必要不可欠な社会参加や余暇支援を促す もの」としており、詳細な利用目的や移動先の報告までは しょうさい りようもくてき いどうさき ほうこく 求めていないため、主な外出先ごとの集計はできませ もと おも がいしゅつさき しゅうけい ん。なお、平成31年度から保護者のやむを得ない事情 へいせい ねんど へごしゃ え じじょう (急病やケガ)により、障害のある児童等の通学に付き添 きゅうびょう しょうがい じどうとう つうがく つそ えない場合にヘルパー利用ができるようになりました。</p> <p>いどうしえんじぎょう たんか くぶん わ また、移動支援事業の単価については、区分を分けて せつてい じちたい しんたいかいご たんか ほんし 設定している自治体もあり、「身体介護あり」の単価が本市 くら たか にんしき いっぽう しんたいかいご に比べ高いことは認識しています。一方で「身体介護なし」 たんかせつてい ほんし ひく じちたい の単価設定が本市より低い自治体もあります。</p> <p>さら りようはんい かくだい ほうしゅうたんか みなお 更なる利用範囲の拡大や報酬単価の見直しについて きょういくぶんや ろうどうぶんやとう ごうりてきはりよ かんけい ざいせい は、教育分野・労働分野等の合理的配慮との関係や財政 ふたん もんだい くに どうこう きんりんじちたい 負担の問題がありますので、国の動向や近隣自治体の じょうきょう ちゅうし ひ つづ けんとう 状況を注視し、引き続き検討していきます。</p>
---	-----------------------	---	--

(3) その他（参考意見として庁内で共有するもの）（0件）

<p>せいり 番号</p>	<p>いけんようし 意見要旨</p>
-------------------	------------------------